

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

↑ 取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>運営規定及びパンフレットに理念4ヶ条を掲げており、入居者、家族他訪問者の方にも見易い玄関や要所に掲示し明暗化している。</p>	
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>理念に於いて職員間周知し支援へと繋げているが、まだ介護計画に取り入れが少ない現状がある。</p>	○ 理念にあたって具体的な介護計画作成を行う。
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる</p>	<p>家族及び近隣へは、パンフレット等により明暗化している。</p>	
2. 地域との支えあい			
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に声を立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。</p>	<p>理念にも掲げている内容であり、近隣への理解も町内に在住の退職者からの力強いサポートもあり円滑に経過している。外出時には住民からの声掛けも多く、自然体での生活が送れている。</p>	
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>母体である法人の行事も参加が出来ており地域交流センターのリハビリ体操にも出向き折々ホーム内の生活状況説明している。他学習会も行っている。</p>	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	母体法人の行事連携により近隣へのお誘いは行っている。ホームによってはDrにより健康教室を打診中。	○	Drと連絡調整を行い高齢者に関連する健康教室を行う。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	H20・2～評価の改善を心掛けた。途中一部職員の変動により滞る面もあったが運営推進会議も実施。	○	評価において、内容を把握し目標に向かい日々努力している。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議に関する規定を作成し、推進委員に守秘義務の同意書や委託状を交付している。市とは情報交換しながら、運営推進会議を開催している。会議で外部評価やホーム運営について報告し議事録を整備。		
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市への情報交換は随時行っている。あんしん介護相談員の意見交換会に毎回出席している。		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	パンフレット等の資料は置いており、各職員に配布し権利擁護についての制度を学習。	○	今後状況は変動していく可能性は十分ある為、啓発していく。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員間での周知はしている。日々ケアの中で注意すべきと重視している。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	説明する際は些細な面、疑問は懇切丁寧に行っている。	
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱を、母体及びホームに設置していて、2ヶ所分の統計を取っている。	
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	健康管理等に於いても家族の面会時や早急に報告すべき事は電話連絡を行っている。金銭管理は家族の確認印も頂き、立ち合いは職員が行っている。	○ マニュアルの作成段階(家族への連絡経過記録簿)
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	母体とホームに設置し、家族からの意見等の受入れは柔軟に行いマニュアル化している。	
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	現在、職員からの意見や希望等は声が届く距離間であり、会議に生かされマニュアルへの追記を行った。	
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	広く多様な変動に向け調整は出来ている。	
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	異動及び退職がやむえない場合には、可能な範囲で引き継ぎの時間を設け、入居者や家族への信頼関係に響かない様努めている。	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○人権の尊重</p> <p>法人の代表及び管理者は職員の募集・採用にあつては性別や年齢を理由に対象者からは排除しないようにしている。又事業所で働く職員についてもその能力を発揮して生き生きと勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している。</p>	<p>職員採用はハローワークを通して。業務契約書や就業規則・服務規程は整備し、定期健診も実施している。職員休息の場はないが勤務の中でとっている。人事考課の運用で能力を発揮し、いきいきと働ける職場作りや高齢者再雇用にも積極的に取り組み、長年培われたキャリアを活かす取り組みがある。</p>	
20	<p>○人権教育・啓発活動</p> <p>法人代表及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる。</p>	<p>人権を尊重とした根底に於いて社会保険労務士を講師としての人権教育を行い、マニュアルも整備し積極的なスタッフの働きかけを行い、ミーティングの中でも啓発している。</p>	
21	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>所内外の研修参加や、人事考課の導入により職員がスキルアップの意欲を持てるような育みを遂行している。</p>	
22	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>市企画の「あんしん介護相談員」「運営推進会議」や外部研修に参加しており交流の機会を持つようにしている。また併設の事業所とのネットワークも密に行っている。</p>	
23	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>機会を通じて職員とのコミュニケーション時間を持つよう配慮しており、併設施設とのネットワークにより同僚として広範囲よりコミュニケーション作りを行っている。</p>	
24	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>人事考課を期に、職員一人々の心がけ立場を把握しており、運営者も多面からの配慮により職員の向上心へと繋がっている。</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
25	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入所にあたって不安に思われていることを察知し、安心できる場所であることも含め、時間を費やし居心地の良い関係作りを築いている。	
26	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	まず家族との話し合いの中で、思いや希望を十分に傾聴することにより、当ホームでの生活で安心感が伝わるような信頼を得ることに努めている。	
27	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ケアマネを介して詳細な情報を得、本人と家族の直の声も聞きながら対応して、その方に合った支援を考慮している。	
28	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	母体である施設にショートステイ利用や、デイサービス等を通して複数の連携により、顔馴染みの関係を構築し家族との話し合いを持ち、理解を深めるよう対応している。	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
29	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>入居者の方は、家族ではなけれど 馴染みの顔と思われていて、職員の体調を心配されたりと夜勤においては肉親のように気遣って頂いたり和やかな関係である。</p>	
30	<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>家族より感謝の言葉や労いの言葉を多く頂き職員一同平謝の感であり、これまで苦労された家族介護の話や現在の生活状況の情報により一喜一憂の交換になっている。</p>	
31	<p>○本人と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している</p>	<p>ホームがクッションとなり、入居者と家族間に新しい発見や暖かい情が湧くような和んだ関係に努めている。</p>	
32	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>古くからの知人の方などが面会しやすい環境作りを提供している。</p>	
33	<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている</p>	<p>入居者間に於いてはトラブルなく穏やかな生活空間があり、いつも誰かが手を繋いで行動を共にされる場面が多く、見守りを継続している。</p>	
34	<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている</p>	<p>退居され当施設特養に移られたり入院された方へは、ホームからも面会をし写真などをお渡ししたりと関係を繋いでいる。ご家族の方にも気軽に立ち寄って頂くよう声掛けをしている。</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
35	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	重点としては、その方に合った生活の場を提供し思いを大切にしている。現在大部分の方はリビングで同じ時間を過ごす事に安らぎを感じておられるが、新入居者の方が遠慮されることのない様な居心地の良い空間を提供するよう努めている。	
36	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	これまで経過されてきた生活習慣や居住されていた環境に着目し、当ホームでの現状と大きな格差がない様重点をおいている。	
37	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	何らかのサインを見逃さない察知力を生かす事に努めており、それぞれの方が日々の生活の中での変化が把握できる様なケアに努めている。	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
38	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ご本人より生活の中での言葉や、ご家族からの希望などは直接職員に伝えて頂く近距離にある為介護計画に取り入れ易い。	○ 職員異動等のため時間の遅れがあり旨く反映してない実情がある。
39	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	入居者の方に健康面での変化等が起きた時や、月日の経過により可能であった事が不可能になった場合は説明を行っている。	○ 今回入退居者の変動も多く期間的に遅れがある。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
40	<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>記録は各職員が情報を共有するという努力をしており、ケアの中での対応に活かしている。プランの見直しにも繋がる様な気づきを伝達している。</p>	
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
41	<p>○事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>福祉施設を母体にしており、事業所の多機能な面を持つ点では柔軟な対応が出来るかと思う。</p>	
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
42	<p>○地域資源との協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p>	<p>入居当初等には、地域担当の民生委員の方々の関わりや、現生活中においても繋がりがあり、時折専門生や高校生等が訪問している。</p>	
43	<p>○他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p>	<p>現在の所、地域外との話し合いまで至る問題点はないが、入居者の意向にあわせ問題解決の際には支援を依頼する意向。訪問美容などの利用もしている。</p>	
44	<p>○地域包括支援センターとの協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p>	<p>現入居者による支援を地域包括センターには依頼していないが、十分に考えられる所であり多方面での協力を依頼したいと思う。</p>	○ 地域包括支援センター等との連携体制を取っていく。
45	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>あくまでも家族、本人の希望を優先しているが、緊急に専門医の受診が必要な場合は、家族への連絡確認をした上で支援している。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
46	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>もの忘れ専門医による受診は行っており、その方の変化等の報告を申し出、Drからの詳しい説明もあり親身になってもらっている。</p>	
47	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<p>準看護師職員や医療機関の看護師よりのアドバイスは受けられる体制にある。</p>	
48	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>入院時は常に病院へと出向き、病状の情報を受けている。認知症との兼ね合いもある為、回復へと向かっている時は、早期退院への受入れ意向をDrへ伝えている。</p>	
49	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>入居時に将来遭遇する終末期の意向を、本人や家族への同意書をお願いしている。</p>	
50	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<p>協力医療機関へとの協働はあるが、当ホームにおいての現状見極めの旨を伝えており、家族からも全面的な看取りの要望はない。</p>	<p>○ 将来的には医療・家族・介護の面での協働体制を作り上げるよう努力したい。</p>
51	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>入居前には本人・家族との面談を行い、不安を取り除くよう十分に当ホームでの生活を紹介しており、納得された上の入居決定へと遂行している。</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
52	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報規程と個人情報の利用目的を明記した書面をホーム内に掲示。入居者や家族に説明し同意を得ている。まず認知症におけるケアは基本的な介護者のモラルでもある対応と思う為、尊びの念を持つ事を啓発している。	
53	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	日々の暮らしの中でも、本人の意思尊重を大切にし自らの意見を取り入れる働きかけを行っている。	
54	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	それぞれの方が思い思いの時間を過ごされていて職員もその方に合った声かけをしている。メニューにおいても、嗜好を伺ったりしており職員側の思いの押し付けは避ける様になっている。	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
55	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	家族の協力もあり美容室へ行かれる方もある。他、訪問美容も協力を得ている為希望を募って応じている。	
56	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の支度では、入居者の方自ら率先して手を貸される場面が多くあり、残存能力を大切にしている。	
57	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	嗜好調査も行い、季節や行事に応じたメニュー作りを工夫している。会話の中からも取り入れる機会が多い。	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
58	<p>○気持よい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	<p>その方に応じた排泄の間隔を把握し、トイレへの誘導を行っている。また、サインも見逃さないように心掛けている。</p>	
59	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>これまでの習慣に添うように、午後より入浴を施行しているが、拒否の強い方には、声掛けの工夫や気分転換により楽しめる方向へ実行している。</p>	
60	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	<p>音や照明等に気配りし、夜勤帯では巡回する事により安心と思われる援助を心掛け、その方に応じたパターンも熟知する事に努めている。</p>	
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
61	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>出来る事の喜びで、職員より感謝の言葉を添える事により笑顔が返って来る雰囲気が多々あり、そのような中から残存能力を引き出すきっかけ作りを心掛けている。</p>	
62	<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>何名かの方は財布を持たれ、ご自分での支払いをされている。他の方はお小遣いとして家族からホームに預かっている分での支払いにより安心しておられる。</p>	
63	<p>○日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>機会を見ては、外出が出来る声かけをしている。近辺の散歩も天気の良い日には気分転換としての支援を行っている。</p>	
64	<p>○普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>	<p>前期として、全員と藤見に行き、外食も行った。後期は、近期中に家族との外出を計画中である。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
65	<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>		
66	<p>○家族や馴染みの人の訪問支援</p> <p>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している</p>		
(4)安心と安全を支える支援			
67	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>		
68	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>		
69	<p>○利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>		
70	<p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>		
71	<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>		
73	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>		
74	<p>○リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている</p>		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
75	<p>○体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>		
76	<p>○服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>		
77	<p>○便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>		
78	<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
79	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食間の水分補給に心掛けている。内容的に飽きられない様な工夫をしており、栄養面では野菜を多く取り入れたメニュー作りや、禁忌食の方々にも配慮している。		
80	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症予防マニュアルを活用し、予防対策に努めている。インフルエンザ予防接種は利用者と職員共に毎年受けている。職員は毎月細菌検査を義務化としている。		
81	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食材は新鮮な店を選び購入しておりまとめ買いには注意している。調理用品は毎夜消毒をしており清潔さに努めている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
82	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	季節感が有る様なウェルカムボードを入居者の方と一緒に作り、出入りがし易い雰囲気作りに努めている。近隣の方は台所の勝手口からも訪問される。		
83	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングには日差しに応じてロールカーテンで調節している。台所は対面式な為、水の音や調理時の香で家庭的な雰囲気作りになっている。		
84	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	比較的皆さん仲良く時間の共有されていて、リビングで過ごされる事が多い。食後には、少しゆっくりしたいとの事により自室で休まれたりと自分の時間を作っておられる。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
85	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人ご家族には入居者の際、これまで使用されていた馴染みの家具の搬入をお願いしている。遠方から来られるご家族には、宿泊が可能な事を伝え、少しでも一緒の時間を過ごして頂きたいと考えている。		
86	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気の上よみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	リビングにおいては、調理時の煙、臭いがこもりやすい為換気には注意している。季節に応じた室内温度には気配りを行っている。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
87	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	バリアフリー様式の建物であり、廊下全体には手すりを設置。独歩も可能である。車椅子の移動もしやすい間口である。		
88	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	最近、手作りで季節に応じたネームプレートにより他室への誤入室を防ぐ事によりトラブルをなくす働きかけをしている。		
89	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	中庭は和風な景観になっていて落ち着く感がある。草が生えはじめるとロ々に”草取りは任せて”と言われ共に作業の出来る中庭・玄関となっている。		

V. サービスの成果に関する項目

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
96	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。
98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	①ほぼ毎日のように
		②数日に1回程度
		<input type="radio"/> ③たまに
		④ほとんどない
99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	①大いに増えている
		<input type="radio"/> ②少しずつ増えている
		③あまり増えていない
		④全くいない
100	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が
		②職員の2/3くらいが
		③職員の1/3くらいが
		④ほとんどいない
101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が
		②利用者の2/3くらいが
		③利用者の1/3くらいが
		④ほとんどいない
102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が
		②家族等の2/3くらいが
		③家族等の1/3くらいが
		④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

大牟田の中でも静寂な環境であり、近隣には民家も多く自然な時間が入居者の方々には落ち着く空間作りのお手伝いをさせて頂いています。併設である特養老人ホーム・デイサービス利用者の方々とも一緒に行事を楽しめるという利点もあり、大器の中でゆっくり守られている感が伝わるよう努力しております。その中新しく顔馴染みになったり又、古くからのお友達が居られたりと、人との出会いにも安心感が湧くかと思えます。行事により四季の変化も肌で感じられる環境作りに取り組んでいます。ご家族の協力も多く、入居者の方々を職員と共に守り、揺るぎない時間をゆっくりと過ごして頂き理念に添った家庭的な生活が出来る様な支援を目指し、健康面でも医療機関との連携をとり痛みや不快感のない毎日を送って頂けるよう寄り添いながら見守っております。